

本校の農業クラブ活動は、生徒が主体的に学び、挑戦し、地域社会に貢献していく貴重な機会となっています。今年度も各種プロジェクト活動や意見発表、競技会への参加、さらには地域連携事業など、多彩な取り組みが展開され、生徒たちは確かな成長を見せてくれました。とりわけ、生徒同士が互いの強みを認め合い、協力しながら成果をつくり上げていく姿には、頼もしさと将来への



クラブ後援会長

岸山
尚弘

クラブ後援会長より

大きな可能性を感じています。

活動の一つひとつを支え続けてまい

「地域とつながる力」も育まれていま

生徒会編



校長 赤穂 悅生

温かなご支援に 支えられた一年

PTAの皆さまの温かいご支援とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

農業クラブ活動では、代表生徒が全国大会（西関東）に出場し、ブロジェクト発表部門で見事全国優秀賞

全国大会（西関東）に出場し、プロ젝ト発表部門で見事全国優秀賞という素晴らしい成果を収めました。惜しくも全国制覇には一步届きませんでしたが、地域課題の解決を目指し、日々の実習や研究に真摯に取り組んできた努力が高く評価された結果です。発表を終えた生徒たちは、「自分たちの地域や農業の未来を見つめ直すきっかけになつた」と語っていました。順位を超えた貴重な経験を得ることができました。この成果は、全校生徒の励みとなり、「次は自分たちが」という意欲が高まつて

それぞれの進路先で本校の誇りを胸に、新たな一步を踏み出してくれることを願っています。

今年もPTAの皆さまには、学校行事の運営補助や広報活動、農産物販売会での協力など、数えきれないほどの支えをいただいております。皆さまの温かいまなざしとご理解が、生徒たちの学びの背中を押してくださっています。心より御礼申



▲生徒会執行部



▲農業クラブ執行部

生徒会役員及び 農業クラブ役員

2025年12月22日
(令和7年度)

No. 151

い
ま
す

、学校農場では、春から手塩で育ててきた作物や花、加工の収穫が進み、恒例の「農業種祭」をイオン北海道旭川西催しました。多くの地域の皆 P T Aの方々にもご来場いただいた生徒たちは、自らの学びの成

上げます。間もなく新しい年を迎える
ます。生徒たちには、これまでの努力
を糧に、新しい挑戦に前向きに取り組んでほしいと思います。そして、
保護者・PTAの皆さんには、今後とも本校の教育活動に変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申
し上げます。



私は山梨県で開催された、全国農業クラブ学校大会、鑑定競技部門に出席してきました。三年間初めての全国大会出場で競技の一日前からもう緊張していました。一日前に食べたほうとうの味は今まで思い出します。

全国農業クラブ学校大会 鑑定競技部門

全国に行つてみての感想

三年F組 長原 壮汰

これができません。そして迎えた競技当日、とても緊張したまま競技会場の山梨農林高校に足を踏み入れました。緊張しながらも待機部屋で勉強をしながら待ち、ついに競技会場へと呼ばれました。とてもつもない緊張感の中、開始を告げるブザーがな題されました。問題はさすが全国といつた感じで過去の全国大会の過去問よりさらにレベルアップした問題が出されました。北海道にはない樹木が、しつかり対策したこともあり、解くことができました。結果は優秀賞されました。嬉しさと悔しさが両方ございました。嬉しい瞬間でした。

全国大会では私は努力することの大切さを学ぶことができました。もう鑑定競技にすることはありませんが、この経験を今後に生かしていきたいと思います。

令和七年度 旭川農業高校 PTA役員研修会

- ・森林科学科
- ・農業科学科
- ・食品科学科
- ・スクリーム製造
- DIY 小物入れ



■新農業クラブ役員	
会長	松田 光稀 (2A)
副会長	香西 結月 (2M)
副会长	村椿 こころ (2M)
書記	大沼 尚央 (2L)
監査	佐藤 中島 慈恋 (2F)
監査	成田 歩夢 (2F)
監査	入江 光輝 (1M)
監査	田井萌乃香 (1M)
監査	妻沼 奏利 (1F)
監査	大沼 光輝 (1L)
監査	田井萌乃香 (1A)

令和七年十一月十四日（金）、第二回PTA・クラブ後援会役員会終了後に本校を会場に令和七年度旭川農業高校PTA研修会が次の通り実施されました。

- ・ジャガイモの科学
- ・食品加工体験（アイスクリーム製造）
- ・小物入れ

・生活科学科・ホールケーキデコレーション製造体験
PTA研修会は保護者の皆様方が体験する学科を選び参加いただきました。普段、専門授業で学び身につけた技術を、生徒たちが講師となり参加者に伝えるという形式で研修を行いました。次年度も是非多くの方々にご参加いただき、生徒たちの学びの深さや各学科の特徴等にふれていただければと思います。

学年全体で訪れた清水寺では、古くから建築技術や景色の美しさに感動しました。とくに、清水寺の舞台から見た京都の街並みは、教科書や写真で見たものよりも壮大で、昔の人が守ってきた文化を肌で感じる事ができました。また、自主研修で行った伏見稻荷大社や渡月橋、竹林の小径、錦市場など、それぞれ違った迫力や幻想的な雰囲気、何より京文化を存分に味わうことができ、とても印象に残りました。

大阪での自主研修では、U.S.J.はもちろん楽しかったのですが、今年限りの大阪万博に行けたことがとても良い経験となりました。会場全体が未来的な雰囲気に包まれており、最新の技術や世界中の展示を見たと同時に、世界の広さを感じることができました。どの展示も工



見学旅行を振り返って

森林学科二年
武市 志優

私たち二年生は、十月五日から九日にかけて関西方面への見学旅行に行つてきました。そして、清水寺などの有名な場所を巡つたり、U.S.J.で楽しんだり、大阪関西万博で見聞を広められたことで、普段の日常生活は触れることや見ることのできない特別な時間を過ごすことができました。



夫がすごくて、見ているだけでワクワクしました。大屋根リングをはじめ見たとき木のぬくもりを感じるとともに、その大きさと形に圧倒されました。五日間という短い時間でしたが、たくさんの新しい発見をする事ができました。何より、友人との絆、クラスとの絆を深められたことは大切なものになりました。单なる旅行ではなく、学びを深め、絆を深め、自分自身を見つめ直す機会にもなりました。これからもこの経験を生かして、もっともっと多くのことを学び、成長していきたいと思います。

美術部部長

農業科学科三年
八木橋琴音



今年の美術部は、一年生が八人入部してくれて去年よりも更に賑やかになりました。最初は部長として上手く引っ張つていただける不安でした。ですが、皆で知識を出し合い、部員のみんなが支えてくれたおかげで様々な行事を終えることが出来ました。



▶美術部高文連入賞作品
農業科学科3年
八木橋琴音

次こそ全道大会進出を期待しています。

放送局局長

食品科学科三年
ウイルコック二一ナ



私たち自然科学部は現在、三年生三人、二年生三人、一年生三人で活動しています。今年は、話題の研究テーマを新たに決めるため、今後どのような研究をしていくいかを部員全員で話し合いを重ねました。

放送局では、昼夜みに一〇分間の放送を行っています。話題の曲やリクエストを頂いた曲を流し自分たちでプレイリストと原稿を作り、学校にいるみなさんに明るい放送をお届けしています。

また、五月にあるNHK放送コンテストと十月にある高文連放送コンテストに参加しています。大会では、脚本、撮影、編集を事前に自分たちで行い披露する番組部門、個人で出場するアナウンス部門などに出場します。今年のNHK杯では、新入局員を増やす工夫として展示ブースを開設したことをテーマに発表した研究発表部門で全道四位に入賞しました。

私たち図書局の一、二年生は、九月二十五日・二十六日に行われた高文連第四十七回全道高等学校図書研究大会（上川大会）に参加しました。その後の記念講演では、ノンフィクション作家である片野ゆかさんの「取材は毛だらけ！」動物ノンフィクションが映像化されるまで」というテーマの講演を聴きました。ノンフィクション映画の裏側や動物についても学ぶとのできる良い機会でした。

放送局では、昼休みに一〇分間の放送を行っています。話題の曲やリクエストを頂いた曲を流し自分たちでプレイリストと原稿を作り、学校にいるみなさんに明るい放送をお届けしています。

また、五月にあるNHK放送コンテストと十月にある高文連放送コンテストに参加しています。大会では、脚本、撮影、編集を事前に自分たちで行い披露する番組部門、個人で出場するアナウンス部門などに出場します。今年のNHK杯では、新入局員を増やす工夫として展示ブースを開設したことをテーマに発表した研究発表部門で全道四位に入賞しました。

今後も、より多くの人に私たちの活動と大会出場に力を入れていきます。

図書局副局長

農業科学科二年
尾崎泰地



私たち図書局の一、二年生は、九月二十五日・二十六日に行われた高文連第四十七回全道高等学校図書研究大会（上川大会）に参加しました。

今年度は春入学式前の校外清掃から始まり、その後は外部からボランティア依頼が届く都度内容を局員全員で確認し、それぞれの希望に応じてボランティアに出かけてきました。

今年度のボランティアで印象的だったのは八月二十四日に開催された「水縁日」で遊ぼう!ボランティアです。当日は気温も上がり、暑い中、水遊びを楽しむ親子連れと一緒に水浸しになつて大変な一日でした。が、すごくやりがいを感じる一日になりました。

今大会は上川大会ということで、私たちも大会運営のお手伝いをしました。私は井上靖記念館「作家井上を知る」という見学ツアーパートに参加しました。私は井上靖記念館「作家井上靖について深く知ることができ、とても興味深かったです。

今大会は上川大会ということで、私たちも大会運営のお手伝いをしました。他校の生徒とも交流でき、楽しく、有意義な二日間でした。この経験を今後の図書局の活動に活かしたいと思っています。

ボランティア局局長

農業科学科三年
板垣虎士朗



今年度は春先から局員数が増加し、現在二十四名で活動しています。

今後も時間の許す限りボランティアに参加し、スキルアップしていくたいと思います。

今後も時間の許す限りボランティアに参加し、スキルアップしていくたいと思います。

